

テーマ 共同受注

## 生ゴミ収集運搬処理業務の新たな受注と堆肥化事業の実施

### 御殿場市一般廃棄物処理事業協同組合

生ゴミの減容化を進めるため、収集運搬のノウハウを生かして堆肥化施設を運営。組合として積極的に取り組んだ事がイメージアップにつながり、市民の協力を得られた。

#### 背景と目的

行政よりゴミの減量化・減容化・堆肥化等の方針が打ち出され、組合に対しても協力要請があった。業界が積極的にリサイクル事業を展開することはイメージアップにつながり、また組合が共同事業として行うことで市の支援を受けやすくなるなど、最大の効果が期待された。取り組みにあたり市民の協力を得ることで、行政にとっても協力しやすい環境を作ることが出来たため、市より施設設備補助金を受けることもできた。

#### 事業・活動の内容

当該組合が生ゴミリサイクル施設を設置し、組合員企業が事業系・一般家庭等の生ゴミの収集運搬を行い、施設ではHDM方式（木材チップにEM菌を投入し、堆肥化を進める）により、生ゴミの減量、減容化、堆肥化を行う。出来上がった堆肥を土壌改良剤肥料として農家や一般家庭に無償で配布するものである。初年度たる平成23年度は230t/年の生ゴミ回収処理を行い、事業拡大を順調に進めることにより年間1,000t程度の回収・処理を目指している。

#### 活動の成果

リサイクル用の生ゴミ回収容器を工夫したことで周辺住民への理解が進み、市内148ヶ所の集積所に週2回の回収と堆肥化事業を行っている。組合員にはリサイクル生ゴミの収集運搬が、事業として加わった。処理量については当

初の年間目標を大きく超え、市民の協力度合いと関心の高さが感じられる。現在は限られた地域での実験稼働であるが、今後は更なるリサイクル化の理解を進めるため、市内他地区に回収場所を広げて行く必要もあり、今後は減容の成果と処理コストを比較検討した中で、適正なる委託費用といった課題が考慮される。堆肥化による減容化効率がコスト面で認められれば、今後全ての生ゴミを再資源化する筋道がつくため、事業が伸長する可能性を秘めている。



▲学童にも人気がある粉碎機搭載の生ゴミ回収車（象さん号）



▲生ゴミを粉碎し、コロニーで（菌床）で攪拌する作業の風景

#### 御殿場市一般廃棄物処理事業協同組合

住所：〒412-0039  
静岡県御殿場市竈307-7  
設立：平成5年3月9日  
出資金：21,600千円  
電話：0550-78-7853  
URL：<http://www6.ocn.ne.jp/~yume530/index.html>  
業種：一般廃棄物処理業  
会員：8人  
組合専従者：7人（うち専従理事1人）